

## 情報化社会と外国語教育

著者	竹内 理, 三根 浩, 佐伯 林規江, 枝澤 康代, 高原 まり子
雑誌名	情報化社会と外国語教育
発行年	1994-04-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10112/6147">http://hdl.handle.net/10112/6147</a>

# 情報化社会と外国語教育

竹内 理、三根 浩

編集・執筆

佐伯林規江、枝澤康代、高原まり子

執筆

成美堂

1994

## はしがき

本書は、外国語教育に携わっている教員と外国語教師を志す学生の皆さんのために編まれたものです。ご存じの通り、現代社会は急速に進む情報化の波にもまれています。そして、その波は教育の現場においてもはっきりと感じられるようになっていきます。たとえば、臨時教育審議会の答申では明確に各教科の教育内容の情報化への対応を打ち出しています。学校では、パソコン教室、CAI教室、L.L.教室が次々に導入され、外国語を含む多くの授業での活用が始められています。学校管理部門でもコンピュータは必需品となっています。もはや、教師には情報化の波を避けて通れない現状になっているのです。本書は、このような現実をふまえ、外国語教師およびその卵の皆さんに、情報化社会の現状、情報化社会での外国語教育のあり方、などについて考えていただく「道しるべ」を提供する目的で書かれています。多くの読者が、この「道しるべ」を頼りに情報化の波を乗り切り、情報化社会の利点を生かした効果的な外国語教育を進めていただけるよう願ってやみません。

本書を作成するにあたり、それぞれの著者が異なるパソコンとワープロで原稿を書き、それらをファイル変換してIBMのPS/Vコンピュータを用いて編者が編集しました。原稿の割り付けや編集には、MS-Word Ver.5.0Jを使用しましたが、このような試みは初めてなため、ミスや不適切な所が少なからずあるものと危惧しています。読者の方々から、お気付きの点についてご教示をいただければ幸いです。

最後になりましたが、本書の出版に際してご尽力いただきました同志社女子大学の小林章夫先生、成美堂(株)の菅野英一さんに心よりお礼申し上げます。なお、本書の基礎になる研究は、(財)電気通信事業財団の平成4年度研究調査助成金と同志社女子大学総合文化研究所よりの研究助成を受けて行われました。


情報化社会と外国語教育

本書を作成するにあたり、次の各社より資料の提供を受けました。ここに社名を掲載し、心より感謝いたします。 著者一同

- 赤井電機（株）デバイス特機事業部  
東京都大田区東糀谷 2-12-14 tel. 03-3745-9765
- グローバルメディアシステムズ(GMS)（株）映像営業部  
東京都港区浜松町2丁目5-5 tel. 03-3433-4375
- 河合楽器製作所（株）コンピュータミュージック事業開発室  
浜松市寺島町200番地 tel. 053-457-1264
- 丸文（株）機器営業本部航空宇宙部  
東京都日本橋大伝馬町 8-1 tel. 03-3639-9823
- 松下通信工業（株）AVシステム事業部  
横浜市緑区佐江戸町600 tel. 045-932-1231
- 日本IMI（株）AV事業本部  
神奈川県相模原市矢部 1-7-18 tel. 0427-76-9611
- 日本ビクター（株）特機事業部  
東京都八王子市石川町2969-2 tel. 0426-60-7243
- 三洋電機（株）テレビ事業部  
大阪府大東市三洋町1-1 tel. 0720-70-6174
- ソニー（株）B&I近畿営業部  
大阪市西区新町 1-34-23 tel. 06-531-4111

(A,B,C 順)

登録商標および商標

Macintosh, Centris, Quadra, QuickTime, HyperCard, HyperTalk はアップルコンピュータの登録商標または商標です。Microsoft, MS-Word, MS-DOS, Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。また、 は National Caption Institute, Inc. の Service Mark and Trademark です。その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、各社の登録商標、商標です。

# 目 次

はしがき .....	i
目 次 .....	iii
第1章 情報化社会と教育 .....	1
1.1. 情報化社会の特徴 .....	1
1.2. 教育とコミュニケーション過程 .....	3
1.3. 教育のインフラストラクチャー .....	6
第2章 教育改革の視点 .....	9
2.1. 教育改革の視点 .....	9
2.2. やる気の育成 .....	11
2.3. 情報教育の必要性 .....	13
2.4. 新しいメディアの特徴 .....	14
第3章 教育と情報メディアの歴史 .....	17
3.1. 教育とメディア .....	17
3.2. さまざまな情報の記録メディア .....	20
3.3. 動画の記録 .....	23
3.4. コンピュータの記録方式 .....	26
第4章 L. L. ....	32
4.1. L.L. とは .....	32
4.2. L.L. その理論的背景 .....	32
4.3. L.L. とその周辺機器 .....	36
4.4. これからの L.L. 像 .....	44
4.5. さらに情報を得るためには .....	45
第5章 CALL .....	47
5.1. CALL とは .....	47

情報化社会と外国語教育

5.2. Listening の側面から .....	47
5.3. Pronunciation の側面から .....	51
5.4. Reading の側面から .....	56
5.5. Writing の側面から .....	61
5.6. さらに情報を得るためには .....	67
第6章 外国語教育とマルチメディア .....	69
6.1. マルチメディアとは .....	69
6.2. ハードウェアから見たマルチメディアの基礎知識 .....	69
6.3. ソフトウェアから見たマルチメディアの基礎知識 .....	70
6.4. マルチメディアのプラットフォーム .....	72
6.5. さらに情報を得るためには .....	76
第7章 外国語教育と通信ネットワーク .....	80
7.1. コンピュータ・ネットワークの変遷 .....	80
7.2. LAN .....	81
7.3. ネットワーク社会 .....	84
7.4. ネットワークの教育的利用 .....	85
7.5. ネットワークの教育的利用の展望と問題点 .....	88
7.6. さらに情報を得るためには .....	90
第8章 情報モラル .....	92
8.1. 知的財産権の尊重 .....	92
8.2. 電子モラル .....	96
8.3. 情報操作の危険性 .....	97
Key Words .....	100
索引 .....	111
著者紹介 .....	114

実践コラム

L.L. を用いて Listening 力を伸ばす方法.....	45
CALL Listening 教材 — コンピュータを用いたディクテーション...	51
マルチメディア英語 Listening 自習プログラムの試み.....	77
ネットワークを利用した英語教育.....	90

**NOTE**

本文中の†はキーワードに掲載されている語の初出を示しています。